

麻酔科専門研修プログラム

We Deliver The Best



 飯塚病院

innovate and evolve

はじめに

麻酔科専門医、そして飯塚病院の麻酔科専門研修プログラムに興味をもっていただきまことにありがとうございます。

本プログラム冊子は飯塚病院が理想とする麻酔科専門医とその専門医を目指すにあたって、当院が準備している研修内容を少しでもわかりやすくお伝えしたいと思い作成いたしました。

プログラム冊子をご覧頂き、当院についてさらに知りたいと思ったら、まずは当院に見学に来ていただけますと幸いです。

皆様からのご連絡お待ちしております。

目次

はじめに	1
麻酔科専門医の使命	3
飯塚病院麻酔科専門研修プログラムの理念	3
プログラムの概要と特徴	3
研修施設群の概要と指導医	6
麻酔科専門研修の経験目標および研修方法	8
多職種による専攻医評価	9
専攻医の評価・修了判定について	9
専門研修管理委員会の運営計画	9
地域医療への対応	9
専門研修の休止・中断, 研修プログラムの移動	9
定員と研修期間について	10

麻酔科専門医の使命

麻酔科専門医は国民が安心して手術を受けられるように手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムの理念

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムを通じて、日本麻酔科学会の専門医育成ガイドラインに準拠して運営する。加えて、ACGME (Accreditation Council for Graduate Medical Education) が提唱する 6 competencies に準拠した評価も行い、地域診療のみならずグローバルな視野を持つ麻酔専門医の育成を行う。

プログラムの概要と特徴

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムでは皆さんが麻酔科専門医取得後のキャリアをイメージし研修を実施できるように 4 つのコースを準備しています。

基本コース

- ・飯塚病院麻酔科を中心に手術中の全身管理に関わる幅広い知識を習得を目指す。

心臓血管麻酔専門医養成コース

- ・2年目以降心臓血管麻酔専門医認定施設である当院や連携施設で研修を実施していく。

集中治療専門医養成コース

- ・Closedな集中治療管理を実施している集中治療専門研修施設を中心とした研修を実施していく。

ペインクリニック専門医養成コース

- ・本プログラムで研修しつつ、ペインクリニック専門医申請資格を満たしていく。

①基本コース

<研修の内容・特徴>

- 飯塚病院麻酔科を中心に手術中の全身管理に関わる幅広い知識を習得していただき、麻酔科専門医を目指します。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科※											
3年	飯塚病院 麻酔科						福岡市立こども病院					
4年	飯塚病院 麻酔科											

※原則、他院で初期研修中の方は1年次の4週間は救急部ローテーション

※麻酔科医は手術中の全身管理を行う必要があり、幅広い知識が必要となるため、希望者は院内診療科での研修が可能です。

②心臓血管麻酔専門医養成コース

<研修の内容・特徴>

- 心臓血管麻酔専門医が2名在籍しており、心臓血管麻酔専門医を取得する上での指導が可能。
- 2019年度より心臓血管麻酔専門医認定施設に認定されるため、当院で経験した症例を心臓血管麻酔専門医認定申請の際に経験症例として届出が可能。(心臓血管麻酔経験症例として心臓血管麻酔専門医認定施設で30症例以上の経験が必要)
- 専攻医2年次には心臓血管麻酔専門医申請資格である『JB-POT』認定試験に合格できる力量が身につくように指導いたします。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科※ 専攻医2年次に『JB-POT』認定試験の受験を目指していただけます。											
3年	飯塚病院 麻酔科						福岡市立こども病院					
4年	聖マリア病院						飯塚病院 麻酔科					

③集中治療専門医養成コース

<研修の内容・特徴>

- 2年目より集中治療専門研修施設にて通算1年以上研修いただくことで、麻酔科専門医取得後は集中治療専門医の取得も視野にいた研修が可能。
- 希望者はクローズドな集中治療管理を行っており、集中治療専門研修施設に認定されている当院集中治療部やさいたま医療センターで研修が可能。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科						聖マリア病院					
3年	飯塚病院 麻酔科						自治医科大学附属さいたま医療センター					
4年	飯塚病院 麻酔科											

④ペインクリニック専門医養成コース

<研修の内容・特徴>

- ペインクリニック専門医が在籍しており、専門医取得に向けた指導が可能
- 日本ペインクリニック学会指定研修施設である『九州大学病院』でペインクリニックに関する研修することでペインクリニック専門医申請資格の一部を満たすことができる。

※臨床医として6年以上の経験があり、次の(1)(2)いずれかの資格を有する者。

- (1) 一社)日本ペインクリニック学会指定研修施設において5年以上の研修を行った者。
- (2) 日本専門医制評価・認定機構基本領域の専門医（日本麻酔科学会認定麻酔科専門医など）の資格を有し、その研修期間中またはその後に本学会指定研修施設で1年以上ペインクリニックに関する研修を行った者。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科						飯塚病院緩和ケア科					
3年	九州大学病院						飯塚病院 麻酔科					
4年	飯塚病院 麻酔科											

研修施設群の概要と指導医

■基幹施設

①飯塚病院

- プログラム統括責任者：尾崎 実展
- 専門研修指導医：5名
尾崎 実展（麻酔, acute pain service）、田平 暢恵（麻酔）
小西 彩（麻酔）、内藤 智孝（麻酔, 神経ブロック）
小畑 勝義（麻酔, ペインクリニック）
- 特徴：筑豊地域（43万人）で中心的な役割を果たす手術施設
- 麻酔科管理症例数：4,463症例

■専門研修連携施設 A

①福岡市立こども病院 [麻酔科認定病院番号：第205号]

- 専門研修指導医：水野 圭一郎（麻酔、集中治療）
泉 薫（麻酔、ペインクリニック）
住吉 理絵子（麻酔）
自見 宣郎（麻酔、ペインクリニック）
石川 真理子（麻酔）
賀来 真里子（麻酔）
- 特徴：
サブスペシャリティとしての小児麻酔を月30～50例のペースで集中的に経験できる。新生児を含む小児全般の気道・呼吸管理の実践的な研修が可能。外科・整形外科・泌尿器科の手術では硬膜外麻酔・神経ブロックを積極的に用いている。急性痛管理にも力を入れており、硬膜外鎮痛やPCAなどを行っている。先天性心疾患の手術件数・成績は国内トップレベルを誇り、研修の進達度に応じて複雑心奇形の根治手術・姑息手術の麻酔管理の担当も考慮する。

②九州大学病院 [麻酔科認定病院番号：第8号]

- 専門研修指導医：山浦 健（麻酔）
辛島 裕士（麻酔）
瀬戸口 秀一（麻酔、集中治療）
神田橋 忠（麻酔）
徳田 賢太郎（麻酔、集中治療、救急）
牧 盾（麻酔、集中治療、救急）
藤吉 哲宏（麻酔、集中治療、救急）

- 前田 愛子 (麻酔、ペインクリニック)
- 白水 和宏 (麻酔、集中治療、救急)
- 住江 誠 (麻酔)
- 専門医： 中山 徹三 (麻酔)、中山 昌子 (麻酔)
- 福德 花菜 (麻酔、緩和ケア)、梅原 薫 (麻酔)
- 杉部 清佳 (麻酔)、加治 淳子 (麻酔)
- 松下 克之 (麻酔)、阿部 潔和 (麻酔)
- 中垣 俊明 (麻酔)、福留 拓哉 (麻酔)
- 藤田 愛 (麻酔)

□特徴：

九州大学病院は、全国でも最大規模の手術症例数を持っている。特に移植手術（心臓・肝臓・腎臓・膵臓等）や特殊な心臓手術（先天性心疾患、経カテーテル的大動脈弁置換術）、ロボット手術等の症例数も多く、高度で専門的な麻酔の研修を行うことができる。また、集中治療・救急医療・ペインクリニック・緩和ケアなど、関連分野での幅広い研修を行うことができる。

③九州医療センター [麻酔科認定病院番号： 第 697 号]

- 専門研修指導医： 甲斐 哲也 (麻酔)
- 虫本 新恵 (麻酔)
- 吉野 裕子 (麻酔)
- 牧園 玲子 (麻酔)
- 東 晶子 (麻酔)
- 小野 悦子 (麻酔)
- 専門医： 富永 昌周 (麻酔)、新原 妙子 (麻酔)
- 池田 麻美 (麻酔)

□特徴：

外科系の全診療科を有し、麻酔科専門医に求められる全ての領域の麻酔を経験することができる。全身麻酔は全静脈麻酔を主体とし、速やかで質の高い覚醒と術後嘔気の少ない良質な麻酔を目指しており、全静脈麻酔を多数経験することができる。術後鎮痛に配慮してエコーガイド下末梢神経ブロックを積極的に施行しており、対象症例も多いため、神経ブロックも多く経験することができる。術後 ivPCA を施行する患者も多く、そのコントロールへの関与も可能である。

■ 専門研修連携施設 B

① 自治医科大学付属さいたま医療センター

[麻酔科認定病院番号： 第 961 号]

□ 専門研修指導医：8名

讃井 将満（集中治療）、石黒 芳紀（心臓手術麻酔）

谷口 由枝（小児麻酔）、大塚 祐史（麻酔、救急医療）

後藤 卓子（麻酔、ペインクリニック）、長友 香苗（麻酔 集中治療）

下山 哲（麻酔、救急医療）、佐島 威行（麻酔）

□ 特徴：1. 独立型 ICU へのローテーション可能

2. 豊富な心臓大血管手術、呼吸器外科手術症例

② 聖マリア病院 [麻酔科認定病院番号： 第 483 号]

□ 専門研修指導医：吉野 淳（麻酔）

藤村 直幸（麻酔、集中治療、救急、ペインクリニック）

信國 桂子（麻酔）

坂井 寿理亜（麻酔）

新井 千晶（麻酔）

□ 専門医： 甘蔗 真純（麻酔）

□ 特徴：

全病床数 1295 床、年間救急患者 6 万人、救急車搬送台数 9000 台と筑後地区の 3 次救急医療体制を支えている。基本理念は「カトリックの愛の精神による保健、医療、福祉、および教育の実践」。「24 時間 365 日すべての患者さんを断わらない」をモットーに救急医療を展開、現在では一次から三次まで、産科・新生児・小児救急から脳神経・心臓疾患、交通外傷まであらゆる分野の救急を引き受けることのできる病院である。診療科は多岐にわたり、新生児から高齢者まで、様々な症例の麻酔経験が可能である。また、手術症例の約 20%（1100 例）が緊急手術であり、緊急手術の麻酔経験も積むことが可能である。

麻酔科専門研修の経験目標および研修方法

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために研修期間中に別途資料「麻酔科専攻医研修マニュアル」に定められた経験目標の達成を目指していただきます。詳細は別紙の『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧ください。

多職種による専攻医評価

年度ごとに多職種（手術部看護師長、集中治療部看護師長、臨床工学技師長、担当薬剤師）による専攻医の評価について、文書で研修管理委員会に報告し、次年次以降の専攻医への指導の参考とします。

専攻医の評価・修了判定について

年に2回、『専攻医研修実績記録フォーマット』を用いて『プログラム管理委員会』にて研修状況进行评估し、専門医認定の申請年度（専門研修終了時あるいは以後）に修了判定を行います。詳細は別紙の『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧ください。

専門研修管理委員会の運営計画

研修プログラムは、プログラム統括責任者のもとで、各施設の研修責任者で構成される専門研修管理委員会によって、定期的に評価、改善される。委員会は年に2回の開催を基本とする。

地域医療への対応

本研修プログラムでは当院を含め地域医療の中核病院と連携している。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は基幹病院だけではなく地域での中小規模の施設においても麻酔指導医の監督のもと麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

各連携施設では十分な指導医の数と指導体制が整っているが、指導体制が十分でないと感じられた場合は専攻医は、研修プログラム統括責任者に対して直接、文書、電子媒体などの手段によって報告することが可能であり、それに応じて研修プログラム統括責任者および管理委員会は研修施設およびコースの変更、研修連携病院からの専門研修指導医の補充、専門研修指導医研修等を検討する。

専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

専門研修の中止、中断、移動については『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧ください。

定員と研修期間について

定員：2名/年

研修期間：4年間